

2024 年 8 月 29 日
住友生命保険相互会社

障がい者への就労支援プログラムを開始 ～シンガポール「TomoWork[※]」のノウハウを活かしたプログラムを日本展開～

住友生命保険相互会社（取締役 代表執行役社長 高田 幸徳、以下「住友生命」）は、2024 年 9 月 2 日から障がい者を対象に就労支援プログラム（以下「本プログラム」）の実証実験を実施します。本プログラムの実証実験を通じて学生のキャリア構築を支援し、企業の障害者雇用促進への有用性を検証します。

今後、障がい者の就労支援の事業化を目指し、対象とする障がいの種類および参画企業を拡げ、検証を重ねていきます。

※ TomoWork は、住友生命の職員が中心となり、シンガポールで設立したデジタル時代に合わせた障がい者の就労支援プログラムを提供する NPO 法人です。2024 年 7 月 1 日付でシンガポールにおけるチャリティ組織の最上位格となる IPC ステータス（Institution of a Public Character）を取得しています（<https://tomowork.org/>）。

1. 目的

本プログラムは、障がい者の新しい就労支援モデルの構築および企業における障がい者の活躍機会を拡げる目的としており、今回の実証実験では、聴覚障がいのある大学生を対象としています。

障がい者の法定雇用率引き上げ等に伴い、企業として持続的な成長を目指すためには、多様な人材の能力を活かし、その価値が発揮されるための雇用のあり方や人材開発が重要です。また、2024 年 4 月 1 日から改正障害者差別解消法が施行され、事業者による障がいのある人への「合理的配慮の提供」が義務化されました。

本プログラムでは、複数の企業が手を取り合って若い人材の育成を支援することに加え、一人ひとりに対して合理的配慮を講じることで企業における障がい者の活躍機会強化等へ繋がるノウハウを取得し、より包摂性のある社会の構築に貢献することを目指しています。

2. 本プログラム実証実験の概要

a. 検証内容

- ・実践的な学びの機会を通じて、学生自身が強み・弱みを理解し、学業から就業に繋げるための有用なプログラムを提供できるかを検証
- ・企業が個々人の障がい特性および合理的配慮事項を理解し、自社の受入態勢の強化に繋がれるかを検証

b. 対象者

聴覚障がいのある大学生約 10 名

c. 企画・運営協力企業

株式会社インテック、スミセイ情報システム株式会社（S L C）

d. 実施場所

住友生命東京本社（〒104-8430 東京都中央区八重洲 2－2－1）

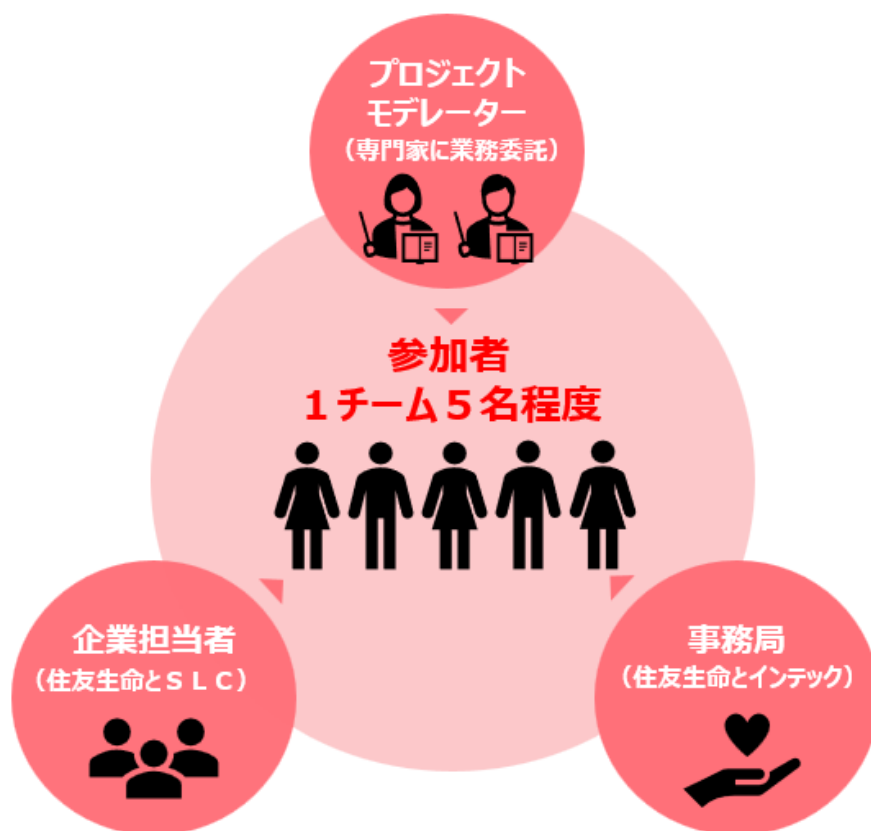
e. 学生に提供するメニュー

ビジネス課題に関連する実践的な企業プロジェクトへの取り組み	・企業で起こりうるビジネス課題を解決するために、プロジェクトチームを組んで取り組みます。このプロセスを通じて、実践的な問題解決能力、チームワーク、コミュニケーションスキルを養います。 ・最終日には 5 日間の成果を発表します。
キャリア形成・プロジェクトマネジメント等の講義	・障がいがありながらも逆境を乗り越えてキャリアを構築している方々による講義を実施します。 ・問題解決能力やマネジメントのスキルを高めるための講義を提供し、企業プロジェクトにて実践します。
キャリアイベント	・当社および企画・運営協力企業 3 社による企業説明会を実施します。 ・最終日には複数の企業担当者をお呼びして参加者との交流会を実施します。
個別メンタリング機会の提供	・協力企業の社員がメンターとなり、参加者一人ひとりにキャリア形成における支援および業界知識等を共有し、参加者へキャリアについて考えるきっかけを提供します。

f. 実施期間

2024 年 9 月 2 日（月）～9 月 6 日（金）

g. 本プロジェクトの体制



3. TomoWork について

住友生命は、2019 年からシンガポールで「TomoWork」という新しい就労支援モデルの取り組みを開始しました。TomoWork は、デジタル分野を含む社会で需要が高まる技能等の習得に焦点を当て、障害者の就労を支援しています。シンガポールの高等教育機関や協力企業など多様な業種の関係者と協働し、これまでに約 300 名の障がい者や特別支援教育が必要な学生に対してトレーニングプログラム（タレント・アクセラレーター・プログラム）を提供し、就労機会を提供してきました。

本プログラムでは、こうした TomoWork の知見・経験も活かした実践的な学びの機会を通じて、学生のキャリア構築支援および企業の障害者雇用促進への有用性を検証します。今後の事業化を目指し、対象とする障がいの種類および参画企業を拡げ検証を重ねていきます。

■本プログラムに関するコメント

TomoWork Ltd. Managing Board Director & CEO

百田 牧人（住友生命出向者）

ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン（DEI）は、今日のグローバル企業が理念に掲げるだけでなく、持続的な成長のための重要ドライバーとして取り組んでいます。

その中でも、障がい者インクルージョンは、複雑で構造的な社会課題に取り組む挑戦の一環として注目されています。

私は TomoWork シンガポールの創設をリードし経営に携わっていますが、その背景には、私自身が障がい児の親であり、その経験から何百人という障がい者やその親御さんと対話を重ねてきたことがあります。障がいがあるために望む就労が得られない方々の現実を見聞きし、障がい者が社会で活躍できる環境を整えることの重要性を痛感しました。そこで、シンガポールでは、ゼロからパートナーシップを築き、デジタル時代に対応した障がい者就労の実現に取り組んできました。

障がいの有無にかかわらず、今後の成長が期待される分野で意義のある仕事に取り組むことは、個々のウェルビーイングに直結する重要な要素です。この理念を実現するために、シンガポールでは、セクターを超えたパートナーシップを育み、成果を上げている点が特筆されます。

日本でも、障がい者就労の課題に対してパートナーシップを通じて取り組むことで、イノベーションを生み出し、新たな機会創出に繋げていくことを期待しています。



（TomoWork にて 2024 年 3 月～ 6 月に実施した就労支援プログラムの成果発表会の様子）

住友生命は、「住友生命グループ Vision2030」において、一人ひとりのよりよく生きる＝ウェルビーイングに貢献する「なくてはならない保険会社グループ」を目指しています。本プログラムは、事業活動を通じた社会課題解決に向けた取り組みであり、今後更に発展させ、新たな価値を創造することで、ウェルビーイングを拡げていきたいと考えています。

以上